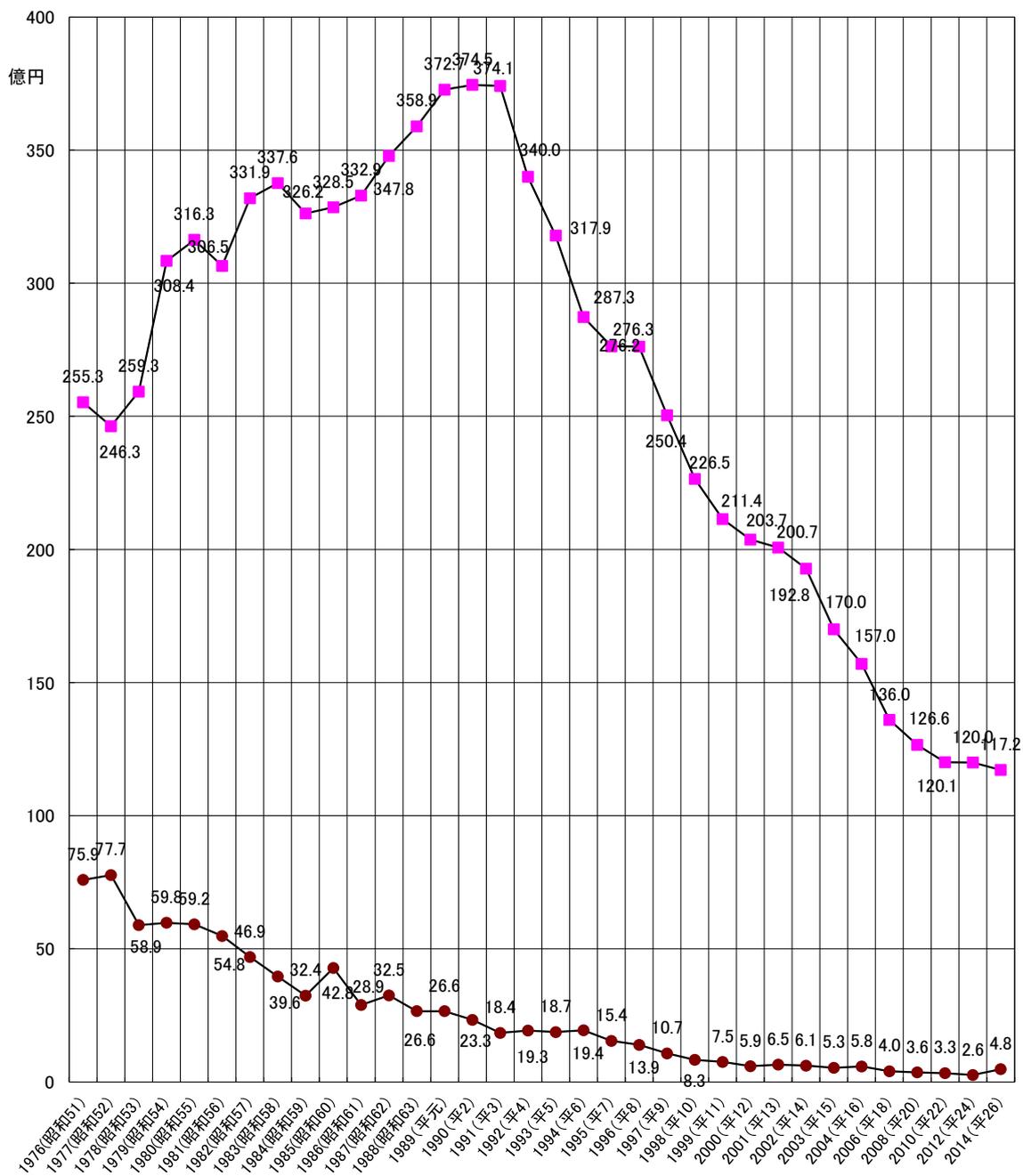


【銅・鉄器販売額の推移】

年	銅器(非鉄合金含む)		鉄器	
	販売額(千円)	前回比(%)	販売額(千円)	前回比(%)
2006(平18)	13,596,361	—	401,727	—
2008(平20)	12,663,332	93.1	364,220	90.7
2010(平22)	12,008,207	94.8	325,866	89.5
2012(平24)	12,000,720	99.9	261,688	80.3
2014(平26)	11,724,517	97.7	478,193	182.7



【銅器品種別販売額】

品種	2014年(平成26年)		2012年(平成24年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
神 仏 具	7,341,376	62.6	7,474,367	62.3	98.2
室内置物	371,719	3.2	520,669	4.3	71.4
花 器	363,139	3.1	453,658	3.8	80.0
屋外置物	546,919	4.7	579,812	4.8	94.3
香 炉	268,333	2.3	439,440	3.7	61.1
茶 道 具	197,982	1.6	175,618	1.4	112.7
そ の 他	2,635,049	22.5	2,357,156	19.6	111.8
計	11,724,517	100.0	12,000,720	99.9	97.7

※その他…文具・小物等、パネル、エクステリア製品等。

【鉄器品種別販売額】

品種	2014年(平成26年)		2012年(平成24年)		前回比 (%)
	販売額(千円)	構成比(%)	販売額(千円)	構成比(%)	
室内置物	99,764	20.9	54,850	21.0	181.9
文具・小物等	55,710	11.7	22,467	8.6	248.0
茶 道 具	168,709	35.3	9,408	3.6	1793.3
そ の 他	154,009	32.1	174,964	66.9	88.0
計	478,193	100.0	261,688	100.1	182.7

※その他…花器、屋外置物、香炉等。

【銅器品種別販売額及び割合の推移】

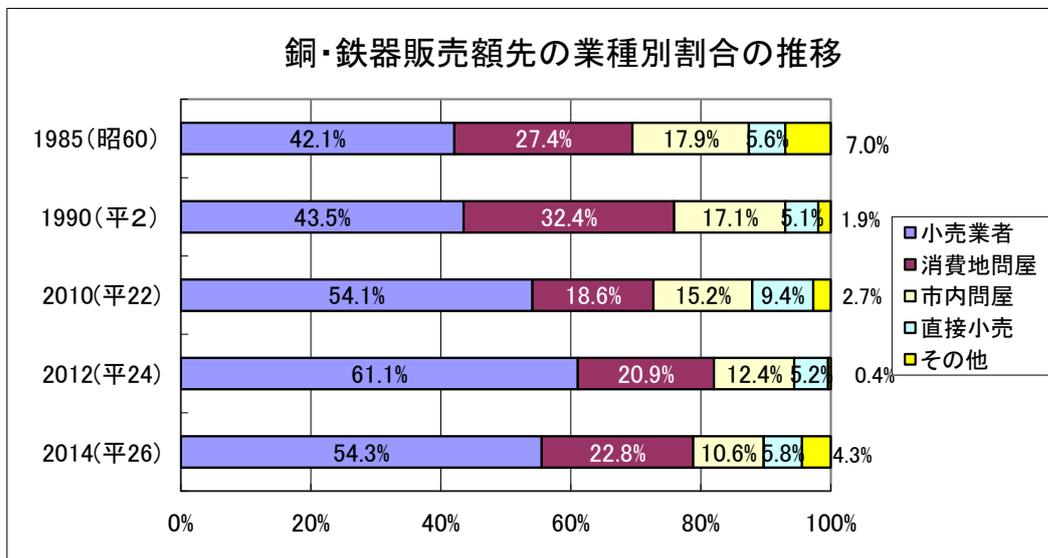
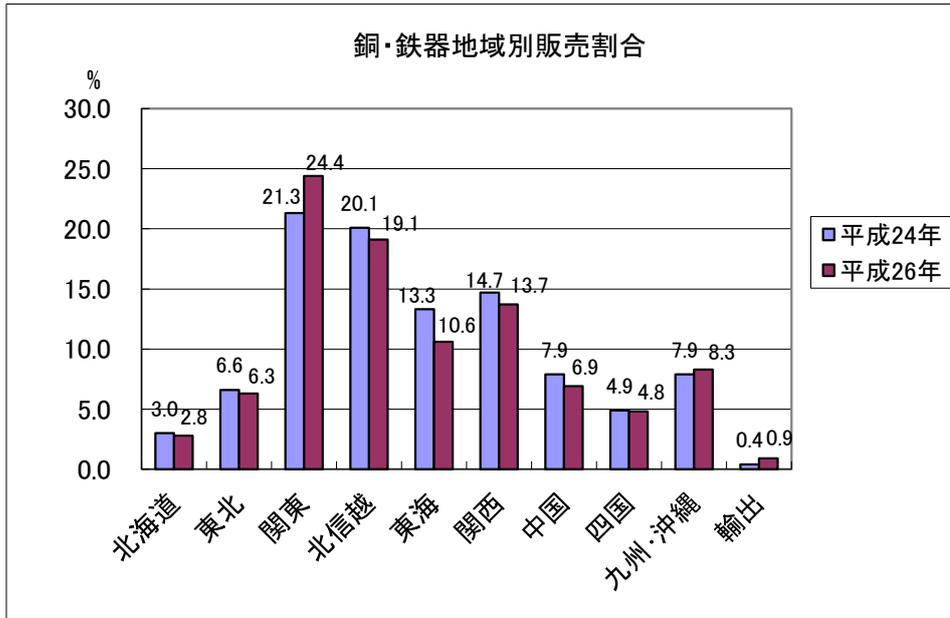
(単位:億円)

	2014(平26)		2012(平24)		2010(平22)		1990(平2)		1985(昭60)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	73.4	62.6%	74.8	62.3%	70.3	58.5%	143.8	38.4%	121.6	37.0%
室内置物	3.7	3.2%	5.2	4.3%	10.5	8.7%	52.2	13.9%	58.5	17.8%
花 器	3.6	3.1%	4.5	3.7%	4.8	4.0%	61.6	16.4%	51.5	15.7%
屋外置物	5.5	4.7%	5.8	4.8%	4.9	4.1%	38.5	10.3%	26.6	8.1%
香 炉	2.7	2.3%	4.4	3.7%	2.9	2.4%	17.7	4.7%	16.6	5.1%
茶 道 具	2.0	1.7%	1.8	1.5%	1.7	1.4%	25.3	6.8%	21.7	6.6%
そ の 他	26.3	22.4%	23.6	19.7%	25.0	20.8%	35.4	9.5%	32.0	9.7%
計	117.2	100.0%	120.1	100.0%	120.1	100.0%	374.5	100.0%	328.5	100.0%

【鉄器品種別販売額及び割合の推移】

(単位:億円)

	2014(平26)		2012(平24)		2010(平22)		1990(平2)		1985(昭60)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室内置物	1.0	20.8%	0.5	20.8%	1.2	36.4%	12.3	52.8%	25.3	59.1%
文具・小物等	0.6	12.5%	0.2	8.3%	0.4	12.1%	4.9	21.0%	7.3	17.1%
茶 道 具	1.7	35.4%	0.1	4.2%	0.1	3.0%	3.0	12.9%	3.4	7.9%
花 器	0.5	10.4%	0.4	16.7%	0.4	12.1%	0.8	3.4%	1.7	4.0%
そ の 他	1.0	20.8%	1.2	50.0%	1.2	36.4%	2.3	9.9%	5.1	11.9%
計	4.8	100.0%	2.4	100.0%	3.3	100.0%	23.3	100.0%	42.8	100.0%



【鑄造法別事業所数と生産額】

○銅器

製法	2014年(平成26年)			2012年(平成24年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	27	2,308,559	51.9	31	2,002,426	44.8	87.1	115.3
焼型	6	94,528	2.1	10	53,533	1.2	60.0	176.6
双型	6	150,428	3.4	6	159,297	3.6	100.0	94.4
ガス型	13	666,925	15.0	11	475,221	10.6	118.2	140.3
蠟型	1	7,315	0.2	2	7,000	0.2	50.0	104.5
ロストワックス	8	308,646	6.9	9	308,923	6.9	88.9	99.9
金型	3	576,995	13.0	4	441,612	9.9	75.0	130.7
その他	12	333,233	7.5	19	1,025,931	22.9	63.2	32.5
計	76	4,446,629	100.0	92	4,473,942	100.0	82.6	99.4

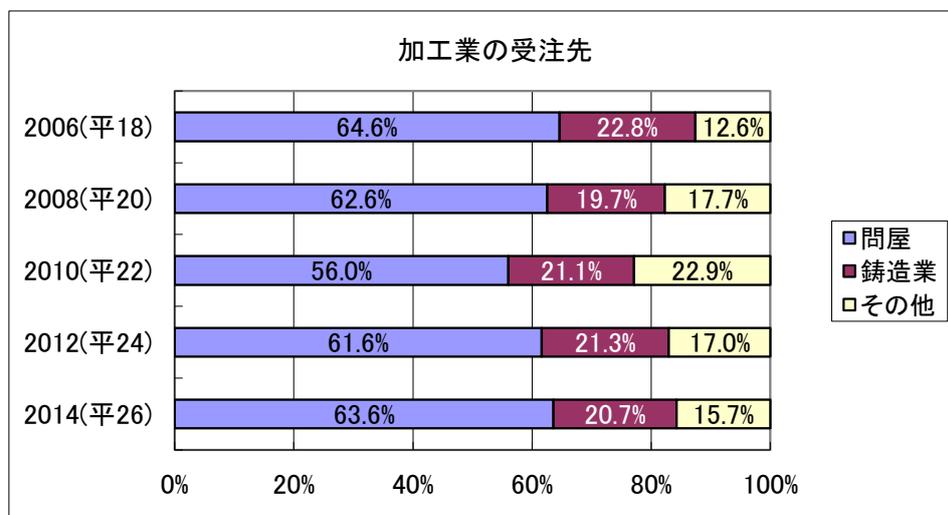
※同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上した。

○鉄器

製法	2014年(平成26年)			2012年(平成24年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	年間生産額(千円)	構成比(%)	事業所数	生産額
生型	2	58,796	36.6	2	67,341	67.9	100.0	87.3
双型	2	64,529	40.2	2	31,840	32.1	100.0	202.7
その他	3	37,351	23.2	0	0	0.0	-	-
計	7	160,676	76.8	4	99,181	100.0	175.0	162.0

【加工工程別事業所数と加工額】

品種	2014年(平成26年)			2012年(平成24年)			前回比(%)	
	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額(千円)	構成比(%)	事業所数	加工額
溶接	4	10,766	1.7	4	16,042	2.2	100.0	67.1
研磨	17	125,875	20.0	21	146,817	20.2	81.0	85.7
彫金	18	49,338	7.8	18	51,077	7.0	100.0	96.6
着色	36	343,712	54.6	44	407,994	56.1	81.8	84.2
仕上げ	9	99,370	15.8	11	104,925	14.4	81.8	94.7
計	84	629,061	100.0	98	726,855	100.0	85.7	86.5



【事業所数と従事者数】

○問屋

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	61	68	77	125	135	89.7
従事者数(人)	555	595	633	1,400	1,599	93.3

(46) (47) (50) ※( )…アンケート回答社数

○鋳造

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	67	71	79	151	164	94.4
従事者数(人)	617	615	624	1,573	1,750	100.3

(40) (49) (53) ※( )…アンケート回答社数

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	7	1
従事者数(人)	76	12

○溶接

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	4	4	4	10	12	100.0
従事者数(人)	4	7	7	21	28	57.1

○研磨

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	17	21	24	49	49	81.0
従事者数(人)	33	39	42	97	91	84.6

○彫金

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	18	18	22	39	45	100.0
従事者数(人)	23	22	42	97	110	104.5

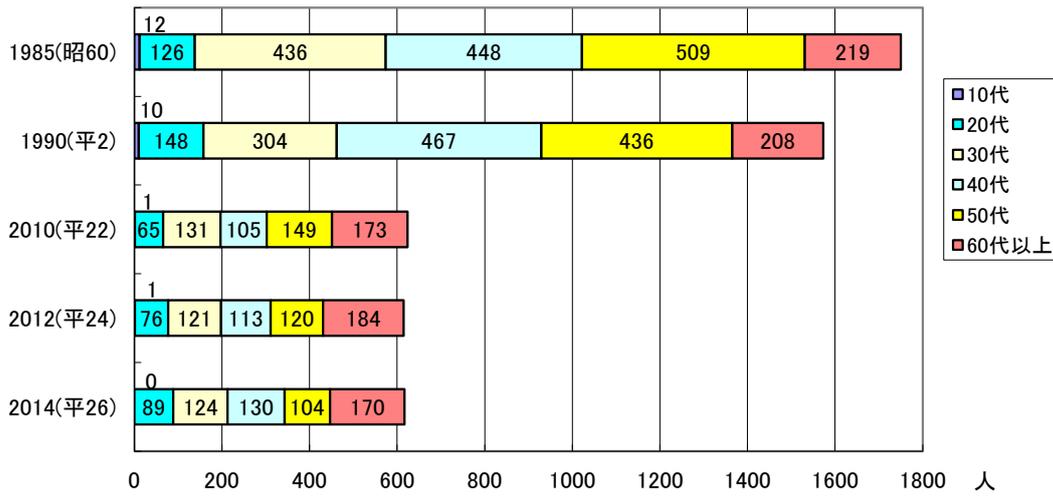
○着色

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	36	44	45	69	76	81.8
従事者数(人)	107	115	122	367	410	93.0

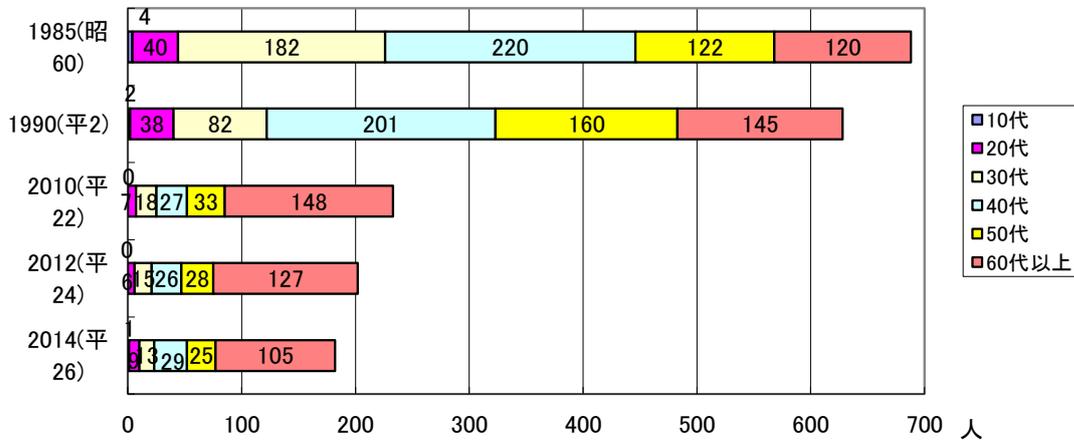
○仕上げ

	2014(H26)	2012(H24)	2010(H22)	1990(H2)	1985(S60)	前回比(%)
事業所数(社)	9	11	12	18	22	81.8
従事者数(人)	15	19	20	46	49	78.9

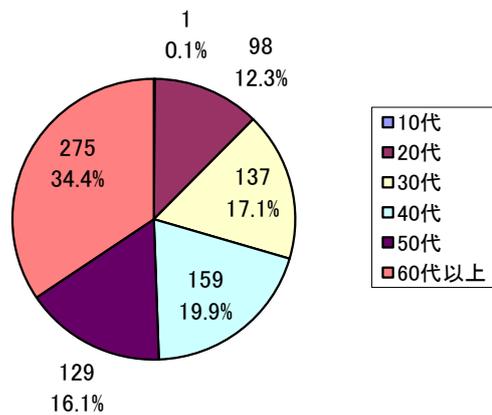
### 鋳造業従事者の年齢構成の推移



### 加工業従事者の年齢構成の推移

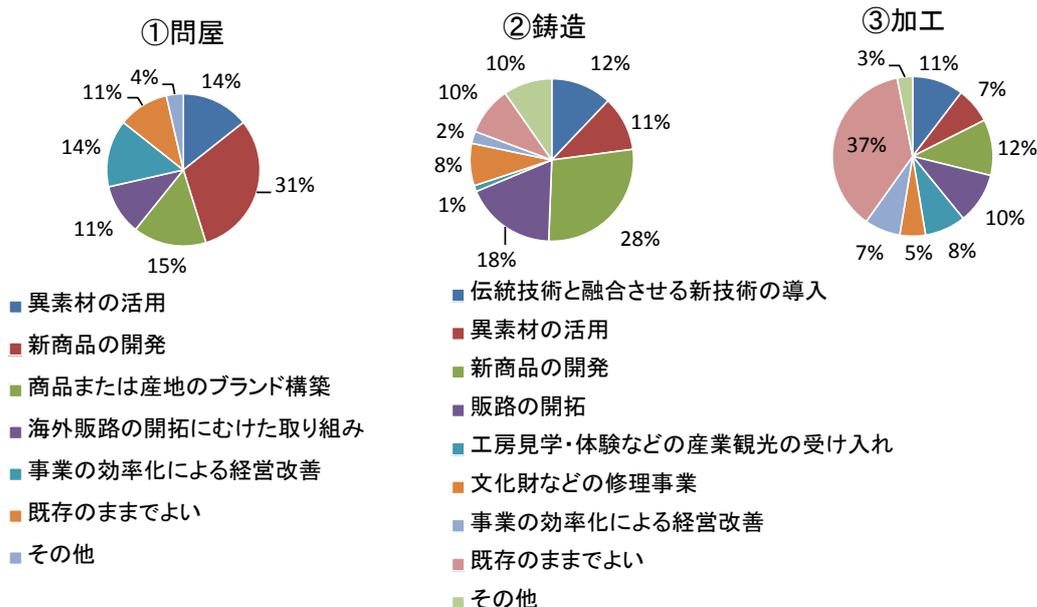


### 銅器製造及び加工業者の年齢構成



## 【意識調査について】

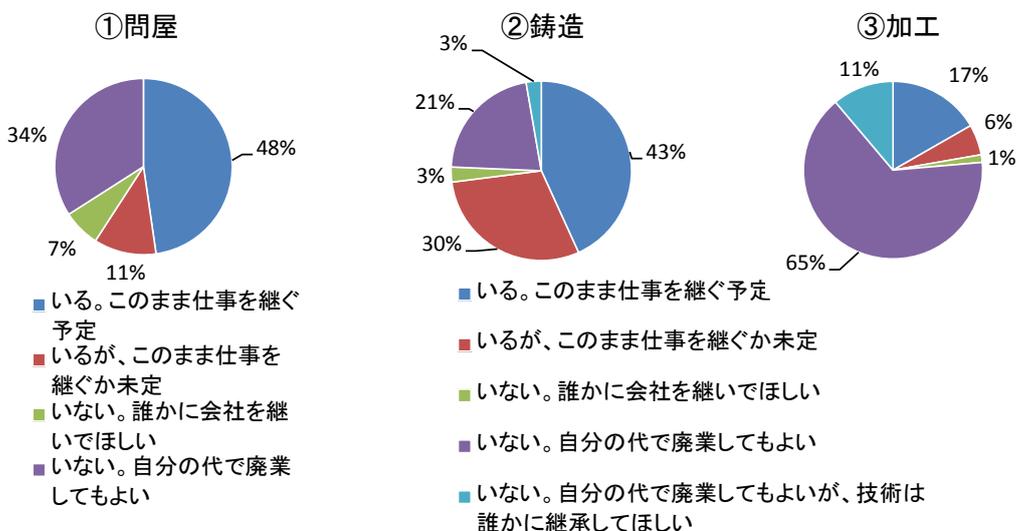
### 1 今後の方向性



問屋や鑄造業者については、「新商品開発を考えている」との回答割合が高い。また、販売額の減少が続くなか、海外市場への積極的な取り組みなど、新たなマーケットの開拓を視野に入れている事業者も少なくない。一方、加工業者は「既存のままでよい」との回答割合が他よりも高い。高岡銅器の加工技術の高さは、高い評価を得ており、従来どおり自分の持つ技術・技法にこだわる事業者の姿勢がうかがえる。

異素材の活用や新技術の導入が必要との考えは全業種においてみられ、新商品開発のためデザイン開発のほかにもさまざまな手法での取り組みが期待できる。

### 2 後継者について



問屋や鑄造業者については、「後継者候補がいる」との回答が半数を超えている。ただし、鑄造業者においては後を継がせるかどうか未定との声が高くなっており、後を継がせようにも、業界の将来が不安で後を継いでほしいと言えない、という事業者の苦悩がうかがえる。

加工業者については、「自分の代で廃業しても良い」との回答が7割以上と非常に高い。これは、高齢化が進んでいること、受注が減少し改善が見られないことなどが理由として考えられる。これまで培ってきた高度な伝統技術・技法を伝承していくため、早急な後継者対策が必要である。